

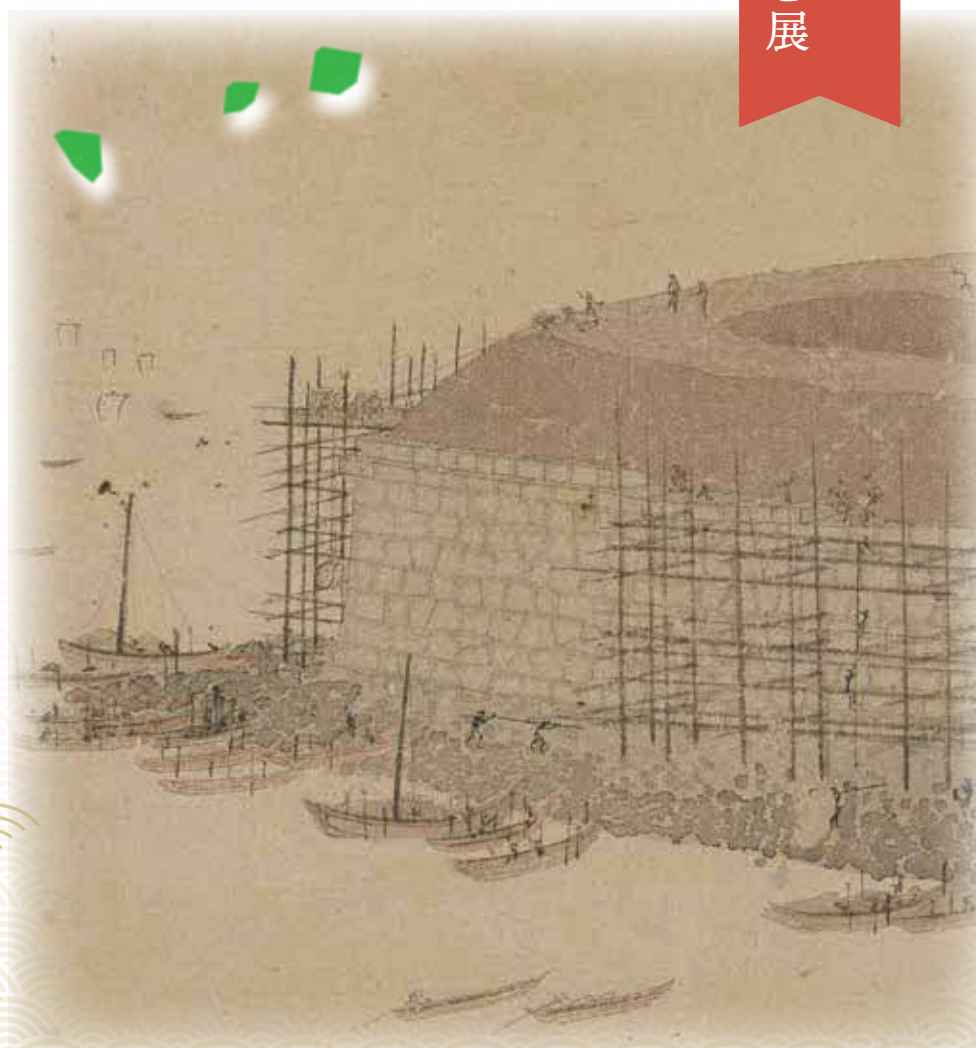
ペリー再来航・品川御台場竣工一七〇年
品川区立品川歴史館リニョーアル特別記念展

品川の海に 御台場が できるまで

一日記でひも解く

一七〇年前の大工事―

ペリー来航後、約二年四ヶ月かけ
1854年12月15日に竣工。
機械のない時代に、だれが、
どうやってつくったのか―



2024年

9/15日 / 12/15日

開館時間…午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）
・休館日…毎週月曜日。月曜が祝日の場合は開館し、翌日の火曜日
（9月17日、9月24日、10月15日、11月5日）

・観覧料…一般100円、小・中学生50円

※20名以上の団体は2割引

※70歳以上の方、障害のある方、区立学校・区内在住の小・中学生は無料



品川区立 品川歴史館
Shinagawa Historical Museum

〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1
電話：03-3777-4060 FAX：03-3778-2615

1853（嘉永6）年6月のアメリカのペリー艦隊来航をきっかけとして、江戸幕府は品川沖に品川御台場（内海御台場）を築き、徳川将軍の居城江戸城とその周辺の防備を固めました。この展示では、品川御台場の普請（築造）に関わった人びとに注目し、地元下蛇窪村名主伊藤清一郎が書き残した初公開の日記などから170年前に行われた大土木工事の様子を紹介します。

だれが描いた？ 将軍徳川家定上覧直前の風景を描いた築造図！



「江戸湾品川沖御台場御普請絵図」 1854（嘉永7）年5月10日（当館所蔵）

初公開！ 名主の御台場築造日記



伊藤清一郎筆「内海御台場御築立御普請御用日記」
1853～54（嘉永6～7）年
下蛇窪村名主伊藤家文書（当館所蔵）

埋め立ての岩を調達 約1億円の領収書！



「請取申金子之事（金千両請取）」
1854（嘉永7）年
三浦郡公郷村永嶋家文書
（横浜市歴史博物館所蔵、写真提供）

先着1000名様限定！ 来場記念プレゼント



1913（大正2）年に発行された
絵葉書の復刻版
「東京毎夕新聞社主催納涼会品川
第一台場公開記念絵葉書」のうち、
「（幕末の遺跡）第一台場より第二台
場台灯望」

※なくなり次第配布を終了します。

※原本保護のため展示期間を限定し、入れ替えを行います。各資料の展示期間など、詳しくは当館HPの特設ページをご覧ください。

リニューアル特別記念展講演会

①「ペリー来航と横浜の大名一藩士の日記からみる武州金沢藩の海防」

講師／小林紀子氏（横浜市歴史博物館主任学芸員）
会場／当館2階講堂
日時／令和6年11月17日（日）午後2時～3時30分
応募開始／令和6年10月1日（火）

②「将軍を護る江戸湾の砦—村名主の日記で紐解く品川御台場の普請」

講師／富川武史（当館学芸員）
会場／当館2階講堂
日時／令和6年12月15日（日）午後2時～3時30分
応募開始／令和6年10月21日（月）

- ・それぞれ定員70名。事前申し込み制。応募が定員を超えた場合は抽選です。
- ・詳しい内容や申し込み方法は品川歴史館ホームページをご覧ください。

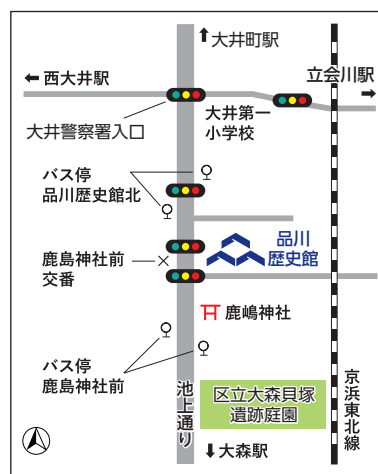
展示解説

「特別記念展『品川の海に御台場ができるまで』の見どころ」

講師／富川武史（同上）
会場／当館2階講堂
日時／9月28日（土）・10月26日（土）午後1時30分～2時30分

- ・定員70名（先着順）
- ・事前申し込みはありません。当日直接会場へお越しください。
- ・各回同じ内容です。

※このほか、しながわ観光協会主催（当館共催）のイベントもあります。
詳しい内容や申し込み方法については、しながわ観光協会のHPをご覧ください



◆大森駅（JR）

北口改札を出て、池上通りを大井町駅方面に徒歩10分

◆大井町駅（JR・東急など）

大森駅方面に徒歩15分
JR中央西口を出て東急バス蒲田駅行または池上駅行で鹿島神社前下車、徒歩1分

◆西大井駅（JR）

しなバス大森駅北口行で品川歴史館北下車徒歩1分

◆立会川駅（京急）

徒歩13分



品川区立 品川歴史館
Shinagawa Historical Museum

〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1
TEL:03-3777-4060 FAX:03-3778-2615

